

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	阿佐ヶ谷美術専門学校
設置者名	阿佐ヶ谷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
造形美術専門課程	デザイン学科 (3年制) 視覚デザインコース		493	9単位	
	デザイン学科 (3年制) リビングプロダクトデザインコース		345	9単位	
	コンテンツ学科 (3年制) キャラクターデザインコース		461	9単位	
	コンテンツ学科 (3年制) 映像メディアコース		475	9単位	
	アート学科 (3年制) イメージクリエイションコース		395	9単位	
	アート学科 (3年制) 絵画表現コース		297	9単位	
	(備考)				

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.asabi.ac.jp/introduction/>
HPにて授業科目一覧を公開。授業内容欄の中で教員の実務経験に関するチェック欄あり

り。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	阿佐ヶ谷美術専門学校
設置者名	学校法人 阿佐ヶ谷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.asabi.ac.jp/introduction/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	高層建築 建築士	2025/4.1 ～ 2029/3.31	経営戦略・企画立案
非常勤	インストラクショナル デザイナー	2025/4.1 ～ 2029/3.31	AI 活用企画立案
非常勤	新規事業開発	2025/4.1 ～ 2029/3.31	経営戦略・企画立案
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	阿佐ヶ谷美術専門学校
設置者名	学校法人 阿佐ヶ谷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 『阿佐ヶ谷美術専門学校授業計画ガイドライン』 各学科の授業シラバス一覧 授業履修の手引き・『履修と学生生活のてびき』(PDF) 毎年教育会議において各学科、コースの方向性を検討し、内容を精査。前年12月から1月に担当教員が内容を執筆、まとめたものを、3月初旬をめどに履修と学生生活のてびきを作成。学生にはクラスルームでいつでも閲覧が可能な状態になっている。年度内での急な内容の変更や追加授業などにも対応が可能である。	
授業計画書の公表方法	https://www.asabi.ac.jp/introduction/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 出席率、授業態度意欲、作品評価、講義系の科目においては、試験やレポートの提出により評価。すべての要素を総合的に判断して履修を認定する。出席率は70%以上、課題提出率は100%が条件。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 出席率、授業態度意欲、作品評価をそれぞれに100点満点で採点。平均値を算出し、60点未満は不可。履修結果表はその年度の前期終了が(8月)と制作期終了後(3月)に交付。成績評価期間は、原則として半期毎とするが、年間を通じて行われる科目については、年間を通した評価を行うことがある。 100～90点 科目の目的を十分に達成し、かつ高く評価されるレベル。 89～80点 科目の目的を十分に達成し、かつ優れていると思われるレベル。 79～70点 科目の目的を十分に達成していると思われるレベル。 69～60点 科目の目的を達成したと思われるレベル。 59点以下 不合格 各学生の必修科目の採点数が全て出揃った後、合計し、その学生の平均点を算出。各学年、各学科、各コースでの成績分布図で、学生の現時点での学力レベルを把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.asabi.ac.jp/introduction/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 『阿佐ヶ谷美術専門学校ディプロマポリシー』 3年次より卒業制作展に向けて各自制作準備に入る。同時に卒業作品集やポートフォリオも進行させる。卒業判定会議の開催。卒業制作展に向けての作品1次審査、2次審査を行う。 卒業制作及び卒業認定 1. 卒業制作の目的 卒業制作は、本校の教育理念に基づいた3ヶ年の学習内容を総合し、かつアート・デザイン能力を構成する3つの能力、1・問題を提起する力、2・問題を解決する力、3・それらを合わせて表現する力を社会に問いかけることを目的とします。 2. 通常の科目履修と卒業制作 卒業制作の能力は、通常科目の十分な履修により築かれるものです。この基盤が十分でない時、卒業制作の制作能力不足と判断されることがあります。 3. 卒業制作の日程、制作指導各課別に卒業制作要項が発表されます。大要は共通ですが、各コースにより1部異なることがあります。 4. 卒業制作の審査と卒業制作展への出品 1) 卒業制作審査に合格した後、展示仕様審査合格により出展が許可されます。(学費未完納者は審査対象から除外されます。) 2) 再審査と再々審査 卒業制作審査の判定で不合格になった場合、審査受付期間内に申し込み、再審査、再々審査を受けなければなりません。再々審査においては別途審査費用2万円を納入する必要があります。 5. 卒業認定、卒業延期 1) 卒業に必要な単位数に不足が生じた場合、その単位が修得できるまでの期間、卒業が延期されます。卒業延期の期間は7月末までとします。この期間内に不足単位が修得できなかった場合は通常の留年と同じ扱いとなり、後期授業料、その他学費を納入する必要があります。 2) 卒業の認定は、学校長を議長とした卒業判定会議で決定されます。同時に卒業延期の場合、卒制再履修の日程・費用などの条件が指示されます。 3) 卒業延期決定者の再履修手続 卒業延期判定を受けた学生は指定された期限までに、再履修手続を行います。期限までに再履修手続をしない場合は、退学または除籍となります。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.asabi.ac.jp/introduction/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	阿佐ヶ谷美術専門学校
設置者名	学校法人 阿佐ヶ谷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.asabi.ac.jp/introduction/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形美術専門課程	デザイン学科視覚デザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	単位時間／97 単位	単位時間 12/単位	単位時間 /85 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		123 人の 内数	0 人	3 人	15 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要) アサビ学業奨学金／ 三輪重育英基金／ 本校独自のアサビ制作助成制度／ 授業イベント作品に対しての賞の創設 学生応援金 (学外活動助成)
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27 人 (100%)	0 人 (0%)	20 人 (74 %)	7 人 (26%)
(主な就職、業界等) グラフィックデザイナー、インテリアデザイナー、プランナー、エディトリアルデザイナー			
(就職指導内容) 会社説明会やガイダンス			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 体調不良・進路変更・経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金の推奨／カウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形美術専門課程	デザイン学科リビング プロダクトデザイン ンコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	単位時間／97 単位	単位時間 12/単位	単位時間 8 5/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		123 人の 内数	0 人	2 人	11 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な績管理の実施及び公表]の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 4.を参照
学修支援等
（概要）アサビ学業奨学金／ 三輪重育英基金／ 本校独自のアサビ制作助成制度／ 授業イベント作品に対しての賞の創設 学生応援金（学外活動助成）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	1 人 (16.7 %)	4 人 (66.6%)	1 人 (16.7 %)
（主な就職、業界等）プロダクトデザイナー、インテリアデザイナー、モデラー、家具 デザイナー、商品プランナー			
（就職指導内容）会社説明会やガイダンス 個別相談			
（主な学修成果（資格・検定等））プロダクトデザイン検定 2 級、インテリアデザイン 技能検定、Fusion360 ユーザー試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	1 人	5%
(中途退学の主な理由) 体調不良・進路変更・経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金の推奨／カウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形美術専門課程	コンテンツ学科キャラクターデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	単位時間／97 単位	単位時間 12/単位	単位時間 8 5/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		194 人の 内数	4 人	7 人	13 人	20 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な績管理の実施及び公表]の 1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 4.を参照
学修支援等

(概要) アサビ学業奨学金／ 三輪重育英基金／ 本校独自のアサビ制作助成制度／ 授業イベント作品に対しての賞の創設 学生応援金 (学外活動助成)
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41 人 (100%)	2 人 (4.9%)	24 人 (58.5 %)	15 人 (36.6 %)
(主な就職、業界等) マンガ家、イラストレーター、アニメーター、アートディレクター、動画マン			
(就職指導内容) 会社説明会やガイダンス、 個別相談			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169 人	8 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 体調不良・進路変更・経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金の推奨／カウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形美術専門課程	コンテンツ学科 映像メディアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	単位時間／97 単位	単位時間 12/単位	単位時間 8 5/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		194 人の 内数	1 人	6 人	6 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３[(3)厳格かつ適正な績管理の実施及び公表]の１.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３[(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の３.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３[(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の４.を参照
学修支援等
（概要）アサビ学業奨学金／ 三輪重育英基金／ 本校独自のアサビ制作助成制度／ 授業イベント作品に対しての賞の創設 学生応援金（学外活動助成）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (62.5%)	3 人 (37.5 %)
（主な就職、業界等）映像クリエイター、監督、ディレクター、スタジオカメラマン メディアクリエイター、ビデオエンジニア、映像照明／音声など			
（就職指導内容）会社説明会やガイダンス 個別相談			
（主な学修成果（資格・検定等））映像音響技術者資格認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	2 人	8.7%
（中途退学の主な理由）体調不良・進路変更・経済的困窮		

(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金の推奨／カウンセリングの実施

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形美術専門課程	アート学科イメージ クリエイションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	単位時間／97 単位	単位時間 12/単位	単位時間 8 5/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		73 人の 内数	3 人	1 人	12 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 4.を参照
学修支援等
（概要）アサビ学業奨学金／ 三輪重育英基金／ 本校独自のアサビ制作助成制度／ 授業イベント作品に対しての賞の創設 学生応援金（学外活動助成）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18 人 (100%)	2 人 (11.1%)	10 人 (55,6%)	6 人 (33.3%)
(主な就職、業界等) アートディレクター、web デザイナー、アートブランド販売業、起業家			

(就職指導内容) 会社説明会やガイダンス 個別相談
(主な学修成果(資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	2 人	4.3%
(中途退学の主な理由) 体調不良・進路変更・経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金の推奨／カウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形美術専門課程	アート学科絵画表現コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	単位時間／97 単位	単位時間 12/単位	単位時間 8 5/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		73 人の 内数	3 人	5 人	7 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 [(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表]の 4.を参照

学修支援等
(概要) アサビ学業奨学金／ 三輪重育英基金／ 本校独自のアサビ制作助成制度／ 授業イベント作品に対しての賞の創設 学生応援金 (学外活動助成)

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (22.2%)	7 人 (77.8%)
(主な就職、業界等) アニメーター、マンガ家、画家、美術家			
(就職指導内容) 会社説明会やガイダンス 個別相談			
(主な学修成果 (資格・検定等) WEB 映像機器関連			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良・進路変更・経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金の推奨／カウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
デザイン 学科 視覚デザ インコー ス	200,000 円	850,000 円 2 年次のみ 870,000 円	340,000 円 2・3 年次は 360,000 円	教育環境拡充費 教育実習費 健康管理費 別途入学検定料 ※詳細は別紙参照
デザイン 学科 リビング プロダク トデザイ ンコース	200,000 円	850,000 円 2 年次のみ 870,000 円	340,000 円 2・3 年次は 360,000 円	同上
コン テンツ学 科 キャラク ターデザ インコー ス	200,000 円	850,000 円 2 年次のみ 870,000 円	340,000 円 2・3 年次は 360,000 円	同上
コンテン ツ学科 映像メデ ィアコー ス	200,000 円	850,000 円 2 年次のみ 870,000 円	340,000 円 2・3 年次 は 360,000 円	同上
アート学 科 イメージ クリエイ ションコ ース	200,000 円	850,000 円 2 年次のみ 870,000 円	340,000 円 2・3 年次は 360,000 円	同上
アート学 科 絵画表現 コース	200,000 円	850,000 円 2 年次のみ 870,000 円	340,000 円 2・3 年次は 360,000 円	同上
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.asabi.ac.jp/introduction/

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
年に1回各部門からの委員を対象に関係者評価を実施。 同窓会代表2名から評価委員を選出し、学校関係者評価委員会を開催し、結果の取りまとめを行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会	3 年（2025/4/1 ～ 2028/3/31）	同窓会代表
阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会	3 年（2025/4/1 ～ 2028/3/31）	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.asabi.ac.jp/introduction/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.asabi.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113311500012
学校名 (〇〇大学 等)	阿佐ヶ谷美術専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人阿佐ヶ谷学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		71 人 (3 人)	70 人 (5 人)	71 人 (5 人)
内 訳	第Ⅰ区分	43 人	41 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅱ区分	12 人	12 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅲ区分	13 人	12 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人 (0 人)
合計（年間）				71 人 (－人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人		
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0 人		
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0 人		
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0 人		
計	0 人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期		後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	— 人
3月以上の停学	0 人
年間計	— 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0 人
訓告	0 人
年間計	0 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0 人		

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0 人	人	人
GPA等が下位4分の1	14 人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0 人	人	人
計	14 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。